

### 目次



1. 通期業績

• P.2

2. 第4四半期の業績

• P.14

3. 株主還元

• P.24

4. 事業概況

• P.26

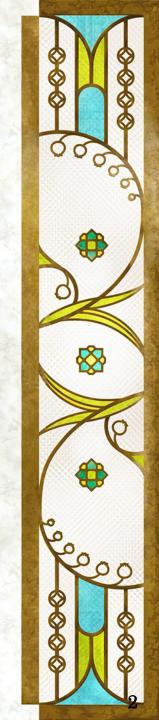
5. 補足資料

P.52











### 2019年3月期業績予想と実績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
業績予想	43,000	750	800	350
実績	41,857	722	903	738
達成率※	97.3%	96.3%	112.9%	211.1%

※小数点第2位を四捨五入







### 2020年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益 
2020年3月期 業績予想	43,200	730	770	252
2019年3月期実績	41,857	722	903	738
2019年3月期 実績比	+3.2%	+1.0%	<b>▲</b> 14.8%	<b>▲</b> 65.8%

※小数点第2位を四捨五入







### 当期の業績と前期比較

(単位:百万円)

	2019年3月期 累計	前期比 2018年3月期累計			
	光司	実績	増減額	増減率	
売上高	41,857	41,501	+356	+0.9%	
売上総利益	7,225	7,173	+52	+0.7%	
販管費	6,503	6,874	▲370	<b>▲</b> 5.4%	
営業利益	722	299	+423	+141.4%	
経常利益	903	575	+327	+56.9%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	738	9	+728	_	

※親会社株主に帰属する当期純利益の増減率は、1,000%以上のため表記しておりません。

売上高

前期比 3億56百万円の増加 (0.9%増)

営業利益

前期比 4億23百万円の増加 (141.4%増)







### データ (Nint) 事業会社のMBOによる影響を除く差異

(単位:百万円)

	2019年3月期	2018年3月期		増減額	
	累計	累計	MBO影響を除く 増減額	MBOによる 増減額	合計
売上高	41,857	41,501	+978	<b>▲</b> 622	+356
売上総利益	7,225	7,173	+365	▲313	+52
販管費	6,503	6,874	▲2	<b>▲</b> 368	▲370
営業利益	722	299	+368	+55	+423

売上高

前期比 9億78百万円の増加 (2.4%増)

営業利益

前期比 3億68百万円の増加 (94.5%増

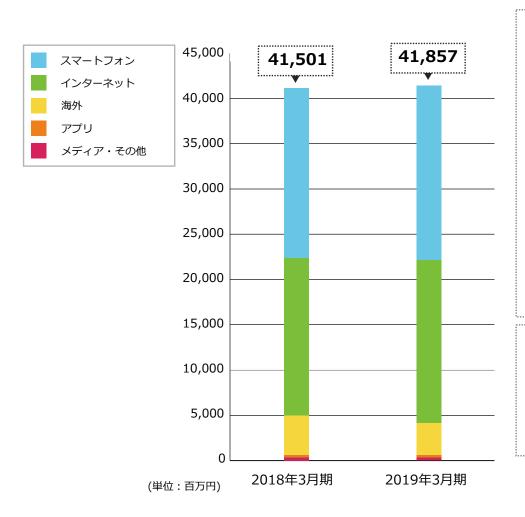




### 1. 通期業績~売上高



#### 売上高の前期比較



#### 国内広告事業

369億77百万円

前期比: 11億79百万円増(3.3%増)

スマートフォン(主にアプリ広告):191億2百万円

前期比:5億1百万円増(2.7%増)

- 海外ゲームクライアントのインバウンド案件の受注

及びマンガアプリ案件が伸長し増加した。

**インターネット**(PCWeb広告およびスマートフォンWeb広告)

: 178億75百万円

前期比:6億77百万円増(3.9%増)

-1Q、2Qにおいて金融系クライアント及び健康食品等

のECクライアント案件が牽引し増加した。

#### 海外事業

40億84百万円

前期比:9億19百万円減(18.4%減)

- 海外拠点の見直し及び中国子会社(ADWAYS

TECHNOLOGY HONGKONG LTD.)のMBOにより大幅に

減少。

※海外子会社(インド除く)の決算期は12月のため、当社グループにおける2019 年3月期の連結決算対象期間は1月~12月となります。

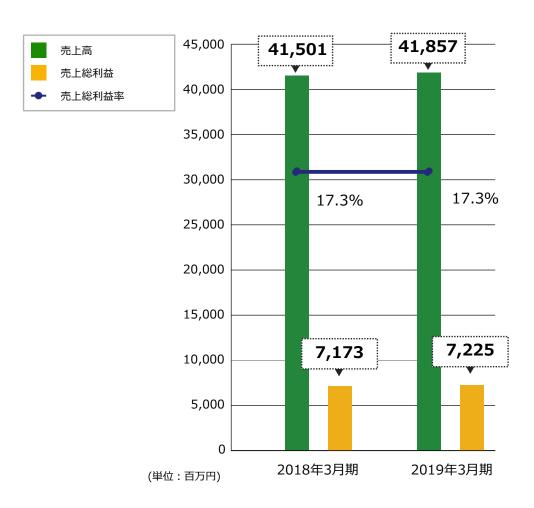




# 1. 通期業績~売上総利益



#### 売上総利益の前期比較



当期売上総利益: 72億25百万円

前期比:52百万円増(0.7%増)

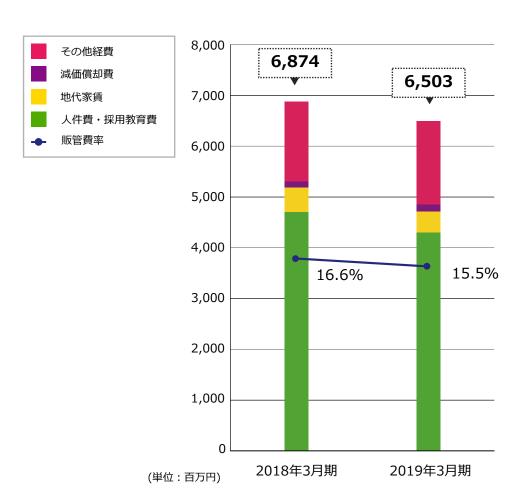
売上総利益率:17.3%(-)



# 1. 通期業績~販管費



#### 販管費の前期比較



当期販管費: 65億3百万円

前期比:3億70百万円減(5.4%減) 販管費率:15.5%(1.1ポイント減)

#### 【主な増加要因】

・支払手数料 : 約80百万円増 ・貸倒引当金繰入: 約53百万円増 ・研究開発費 : 約45百万円増

#### 【主な減少要因】

・MBO : 約368百万円減 ・人件費:約141百万円減

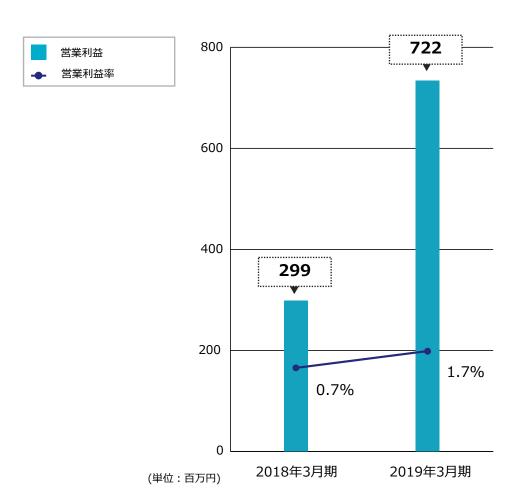




# 1. 通期業績~営業利益



#### 営業利益の前期比較



#### 当期営業利益:7億22百万円

前期比:4億23百万円増(141.4%増) 営業利益率:1.7%(1.0ポイント増)

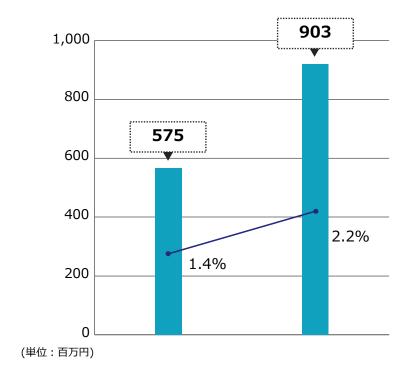
売上総利益が増加し、販管費を抑制したため

営業利益が増加

# 1. 通期業績〜経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



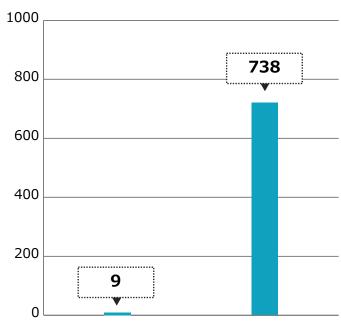
#### 経常利益の前期比較



#### 当期経常利益:9億3百万円

前期比:3億27百万円増(56.9%増) 経常利益率:2.2%(0.8ポイント増)

# 親会社株主に帰属する当期純利益の前期比較



(単位:百万円)

#### 親会社株主に帰属する当期純利益: 7億38百万円

前期比: 7億28百万円増

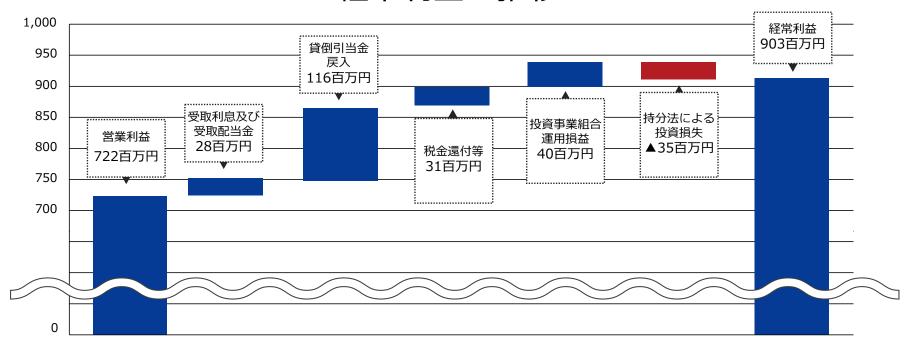




# 1. 通期業績~営業利益·経常利益



#### 経常利益の推移



(単位:百万円)

受取利息及び配当金[28百万円] 貸倒引当金戻入[116百万円] 税金還付等[31百万円] 投資事業組合運用損益[40百万円] 持分法による投資損失[▲35百万円]

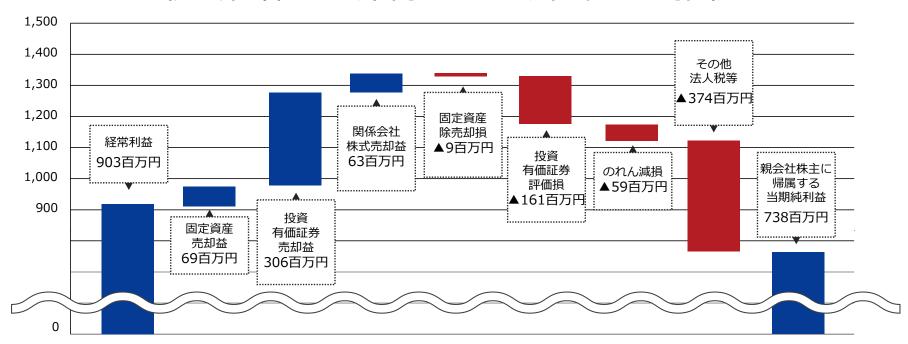




# 1. 通期業績~経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



#### 親会社株主に帰属する当期純利益の推移



(単位:百万円)

固定資産売却益[69百万円]

投資有価証券売却益[306百万円]銘柄数(7社)

関係会社株式売却益[63百万円]銘柄数(1社)

固定資産除売却損 [▲9百万円]

投資有価証券評価損[▲161百万円]銘柄数(16社)

のれん減損[▲59百万円]

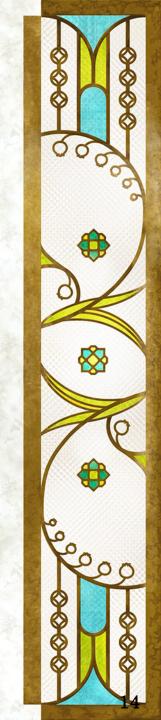
その他法人税等[▲374百万円]: うち本社法人税▲304百万円







# 2. 第4四半期の業績



# 2. 第4四半期の業績



#### 【四半期】当四半期の業績と前年同四半期・前四半期比較

(単位:百万円)

	2019年3月期 第4四半期	前年同四半期比 2018年3月期第4四半期		前四半期比 2019年3月期第3四半期			
		実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
売上高	9,330	11,169	<b>▲</b> 1,838	<b>▲</b> 16.5%	10,038	<b>▲</b> 707	▲7.0%
売上総利益	1,672	1,837	▲165	▲9.0%	1,632	+39	+2.4%
販管費	1,637	1,749	<b>▲</b> 112	<b>▲</b> 6.4%	1,511	+125	+8.3%
営業利益	34	88	<b>▲</b> 53	▲60.7%	121	<b>▲</b> 86	▲71.5%
経常利益	228	371	▲142	▲38.4%	149	+79	+53.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	346	225	+120	+53.7%	130	+215	+165.7%

#### 売上高

前年同四半期比 前四半期比

18億38百万円の減少 (16.5%減) 7億7百万円の減少 (7.0%減)

#### 営業利益

前年同四半期比 前四半期比

53百万円の減少 (60.7%減) 86百万円の減少 (71.5%減)

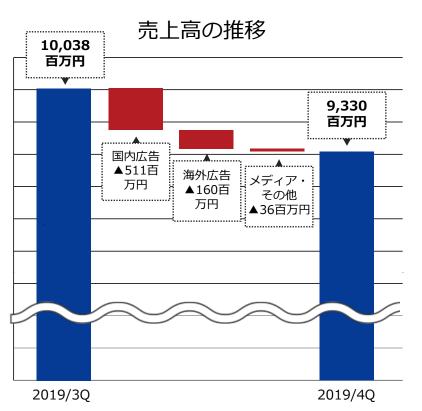




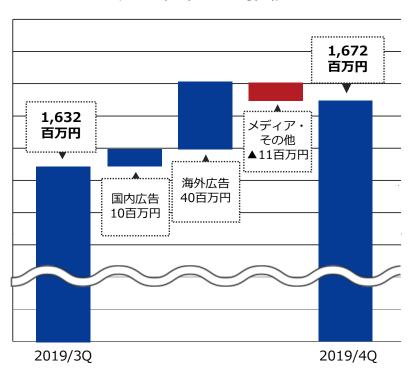
# 2. 第4四半期の業績



#### 【四半期】前四半期の売上高及び売上総利益の分析



売上総利益の推移



(単位:百万円)

海外事業

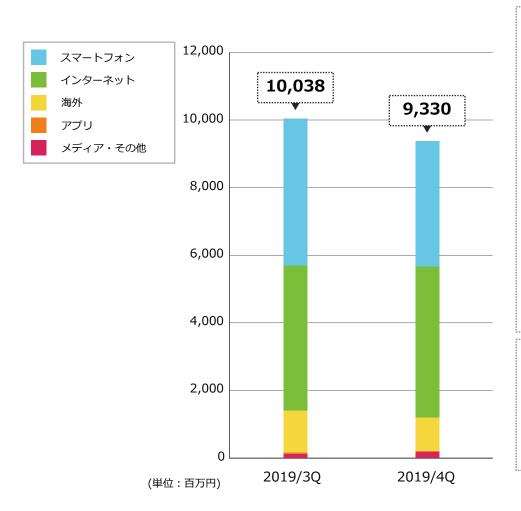
国内広告事業 低粗利率案件の精査及びUNICORNの粗利率の向上等による影響 中国子会社及び台湾子会社において高粗利率の広告メニューに変更した影響



# 2. 第4四半期の業績~売上高



#### 売上高の前四半期比較



#### 国内広告事業

#### 82億35百万円

前四半期比: 5億11万円減(5.8%減)

スマートフォン(主にアプリ広告):41億98百万円

前四半期比:4億97百万円減(10.6%減)

- 大手ゲームデベロッパーのタイトル数減少及び既存案件

の予算縮小により減少となった。

**インターネット**(PCWeb広告およびスマートフォンWeb広告)

: 40億37百万円

前四半期比:14百万円減(0.3%減)

- 金融系クライアント案件は増加したものの、健康食品 及び美容系のECクライアントの予算縮小があり微減と

なった。

#### 海外事業

#### 8億71百万円

前四半期比:1億60百万円減(15.5%減)

- 中国系クライアントのゲームアプリの海外配信の減少 及び高粗利率の広告メニューに変更した影響により減少と なった。

※海外子会社(インド除く)の決算期は12月のため、当社グループにおける2019 年3月期第4四半期会計期間の連結決算対象期間は10月~12月となります。

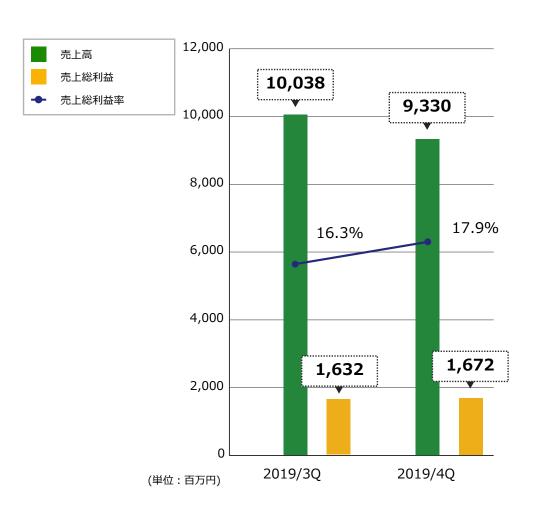




# 2. 第4四半期の業績~売上総利益



### 売上総利益の前四半期比較



当四半期売上総利益:16億72百万円

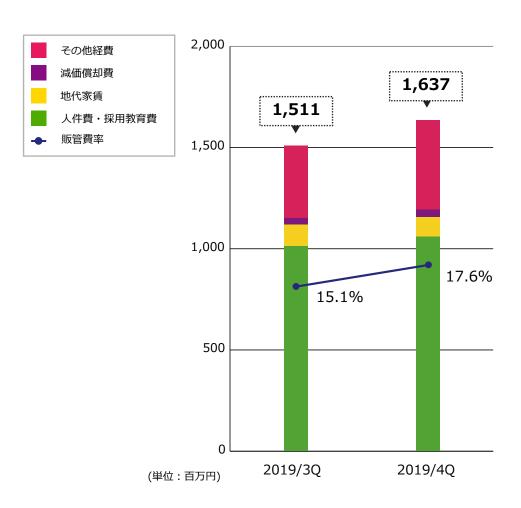
前四半期比:39百万円增(2.4%增)

売上総利益率:17.9% (1.6ポイント増)

# 2. 第4四半期の業績~販管費



### 販管費の前四半期比較



#### 当四半期販管費: 16億37百万円

前四半期比:1億25百万円増(8.3%増) 販管費率:17.6%(2.5ポイント増)

#### 【主な増加要因】

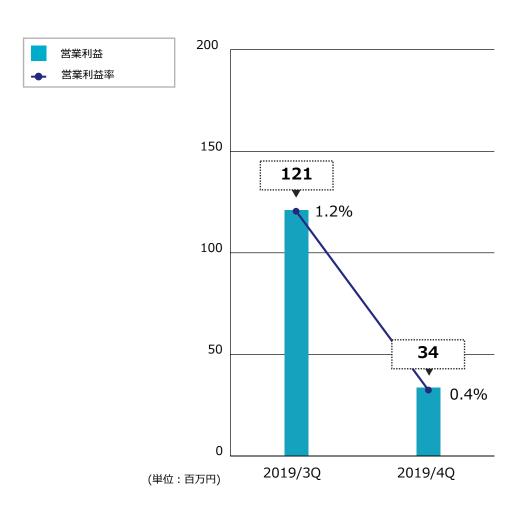
・人件費等 : 約45百万円増 ・研究開発費:約37百万円増 ・貸倒損失等:約28百万円増



# 2. 第4四半期の業績~営業利益



#### 営業利益の前四半期比較



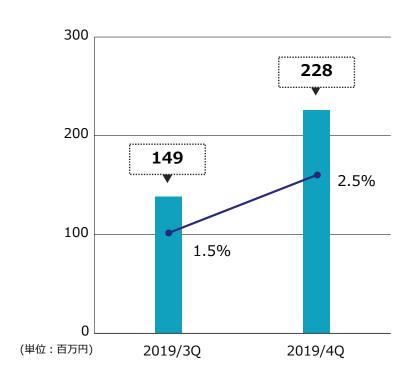
#### 当四半期営業利益:34百万円

前四半期比:86百万円減(71.5%減) 営業利益率:0.4%(0.8ポイント減)

販管費の増加により、4Qの営利が減少

# 2. 第 4 四半期の業績~経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

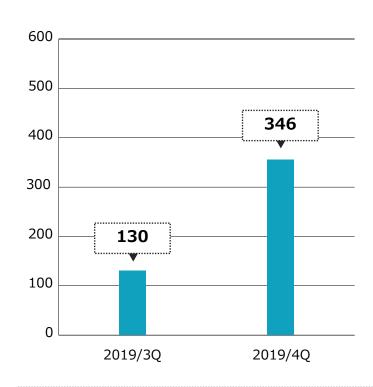
#### 経常利益の前四半期比較



#### 当四半期経常利益:2億41百万円

前四半期比:79百万円増(53.6%増)経常利益率:2.5%(1.0ポイント増)

# 親会社株主に帰属する四半期純利益の前四半期比較



#### 親会社株主に帰属する当四半期純利益: 3億46百万円

前四半期比: 2億15百万円増(165.7%増)

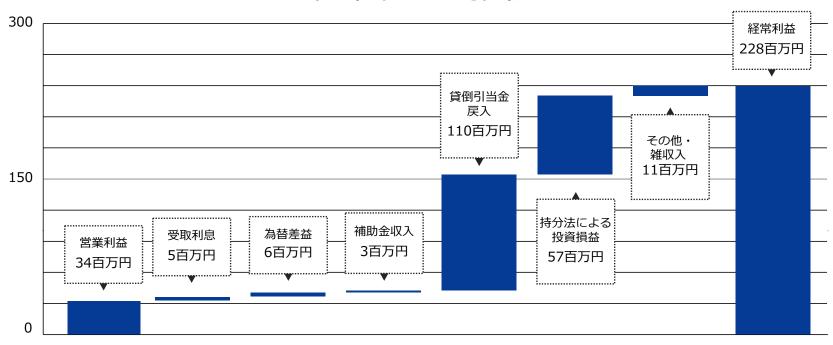




# 2. 第4四半期の業績~営業利益・経常利益



#### 経常利益の推移



(単位:百万円)

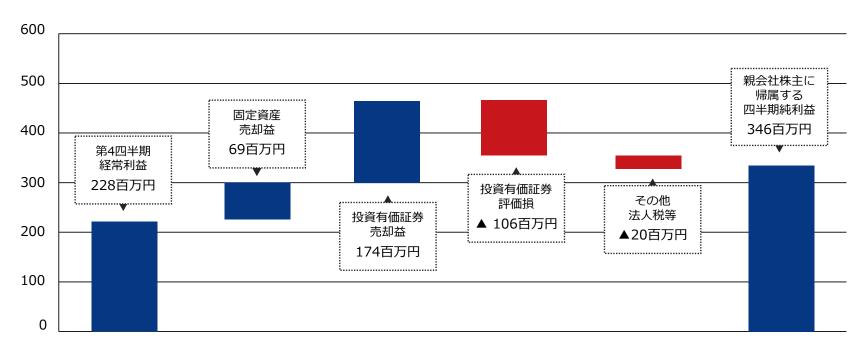
受取利息[5百万円] 為替差益[6百万円] 補助金収入[3百万円] 貸倒引当金戻入[110百万円] 持分法による投資損益[57百万円] その他・雑収入[11百万円]





# 2. 第 4 四半期の業績~経常利益・親会社株主に帰属する四半

### 親会社株主に帰属する四半期純利益の推移



(単位:百万円)

固定資産売却益[69百万円]

投資有価証券売却益[174百万円]

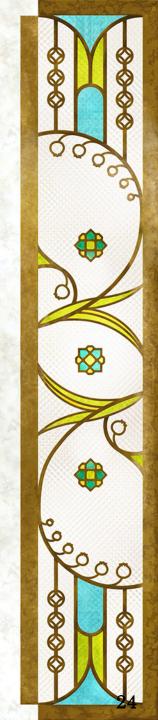
投資有価証券評価損[▲106百万円]銘柄数(7社) その他法人税等[▲20百万円]: うち本社法人税▲56百万円







3. 株主還元



# 3. 業績予想及び株主還元



#### 【2019年3月期 期末配当】

### 1株当たり 3円44銭

#### 【配当方針】

2019年3月期からの3ヶ年(2019年3月期〜2021期3月期)の配当につきましては、第1期を除く当社事業年度を基準とした配当性向(当期は第19期である為18%)より算出される1株当たりの金額、もしくは1株当たり配当金2円40銭を基準に毎期10銭を増配した1株当たり配当金のどちらか高い方を目途といたします。上記の方針から、第19期の配当は親会社株主に帰属する当期純利益の18%である、1株あたり3円44銭といたします

#### 【3ヶ年(2019年3月期~2021年3月期)の配当方針】

第19期	第20期	第21期
(2019年3月期)	(2020年3月期)	(2021年3月期)
配当性向18%	配当性向19%	配当性向20%
もしくは	もしくは	もしくは
1株当たり2円40銭	1株当たり2円50銭	1株当たり2円60銭
の高い方	の高い方	の高い方

%ただし、大きな業績の変動や大規模なM&A等の経営環境等の変化によって、配当方針を変更する可能性があることにご留意ください。











### アドウェイズの広告事業領域およびプロダクト







### **Topics**





# UNICORN

<2019年4月 リブランディングを実施> Light the way to the future of digital marketing 未来のために、UNICORNはデジタルマーケティング業界の 新しい指標になっていきます

# RE D ]= FINE DIGITAL **MARKETING**

# **MISSION**

デジタルマーケティングに関わるすべての人の可能性のために

UNICORN は、機械学習により広告配信の未来予測 を可能にします。"思考する"ことのみに集中できる、 マーケティング本来の姿の実現を目指しています。 デジタルマーケティングの業務プロセスにおいて 人が担うべきではない業務を自動でマネジメントし、 業界から"非効率な単純作業"を減らします。そして、 不正な配信による価値のない広告を徹底的に排除。 "思考のある広告"を"出会う価値のある情報"として、 本来届くべきはずのユーザーの元へ導きます。広告が、 もっと自由で影響力のある存在へと生まれ変わるために。 UNICORNは未来の新しい指針となっていきます。



### 人には不可能な圧倒的なハイパフォーマンスの広告配信エンジン





国内最大級の月間買い付け可能トラフィック

**100+ 250,000+** 

100以上の判断項目に毎秒25万impの価値予測

250K+ 10K+ 0.01+

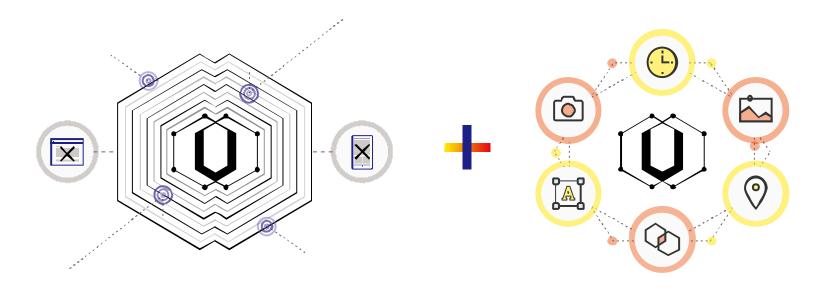
毎秒25万impに加え1万以上の広告から最適な広告を0.01秒で判断







### ARPU\*1/ROAS\*2ともに高いパフォーマンスを継続



PROTECTION & EXCLUSION

MACHINE LEARNING

さまざまな不正対策による良質なユーザーへのリーチと、機械学習による 予測と補正を基に最適化を図ることで、ターゲットCPIに対する 配信実績の誤差は±約20%と高いパフォーマンスを実現します

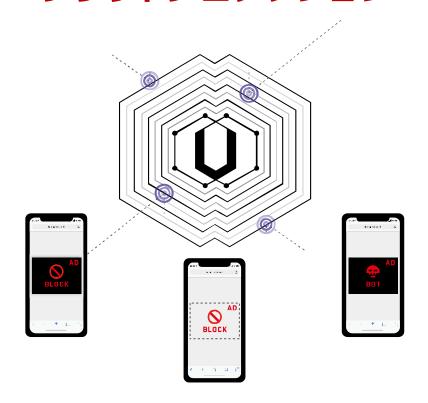
※1 ARPU(Average Revenue Per User)1ユーザーあたりの平均収益。※2 ROAS(Return On Advertising Spend)投下した広告費に対して得られた利益の割合のこと。広告の費用対効果。







### 配信実績やエンゲージメントデータを元にした独自の フラウドプロテクション

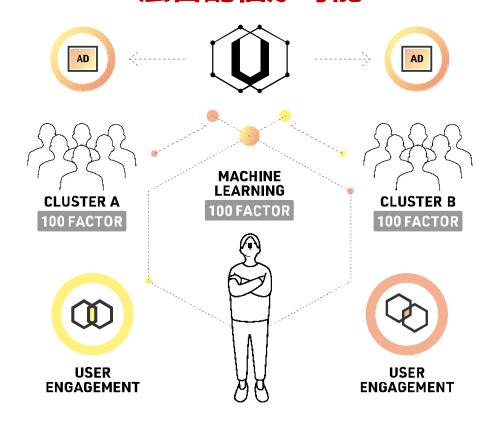


通常ではあり得ない結果となる配信パターンを検出 買い付け対象から除外し、効果のあるパターンのみでの配信を実現





### 想いを届けたいユーザーと想いが伝わるユーザーにのみ 広告配信が可能



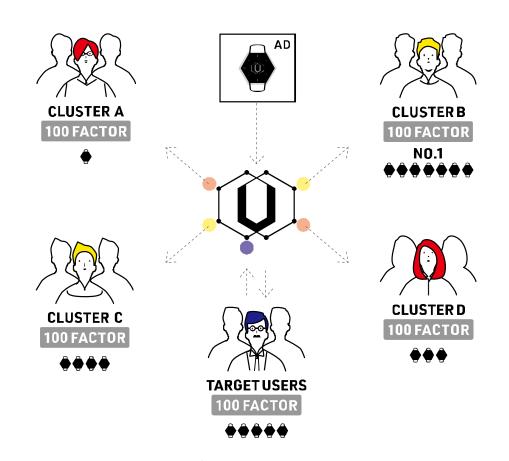
ユーザーエンゲージメントを基にした機械学習による配信調整 本当に興味を示したユーザー群へのアプローチが可能に







#### 本質的な指標とハイブリッドな広告配信エンジンにより、潜在顧客へリーチ



配信結果に基づき最適化を行うことで、 顕在化されていない潜在的なユーザー群へリーチが可能





#### UNICORNの進捗



売上高は引き続き成長

UNICORN経由での 獲得ユーザーのROAS<sub>\*</sub>数値



平均146%

(2019年3月度実績)

主要取り扱い ネットワーク4社 **平均**87%

(2019年3月度実績)

引き続き他社より 圧倒的に高いROASを実現

※ROAS(Return On Advertising Spend) 投下した広告費に対して得られた利益の割合のこと。広告の費用対効果。







#### 今後の営業戦略



#### UNICORNを主要代理店に開放



















#### **Topics**







#### ブランド広告におけるアドウェイズの強み

#### 1. 自社プラットフォーム



#### 2. 独占媒体



#### 3. クリエイティブ テクノロジー

- ✅ インタラクティブ動画



機械学習によるブランド広告効果の最大化



豊富なブランド広告実績を持つ メディアとの提携



ブランド広告効果の最大化を実現 するリッチクリエイティブの提供

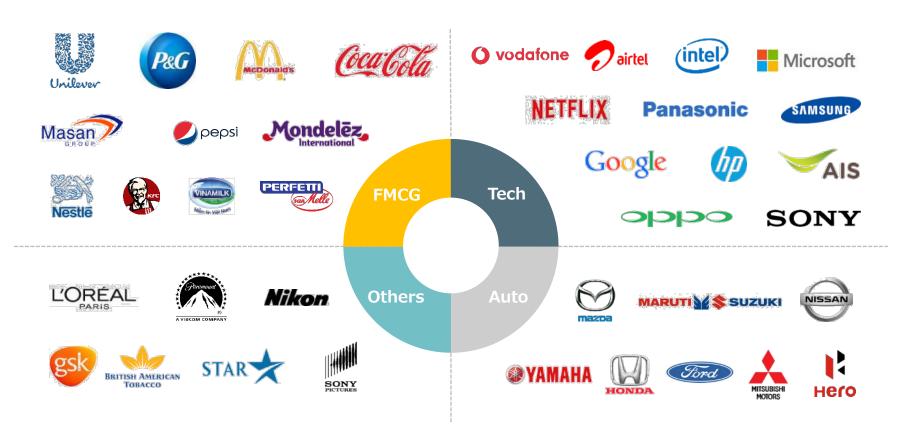
ブランド広告に向けたクリーンな配信チャネルと、 Creative techを強化し独自のポジションを確立する







# 豊富なナショナルクライアント案件の配信実績を持つ「POKKT」と日本展開における独占販売契約を締結



インド・東南アジアの大手ブランド向けモバイル動画広告プラットフォーム

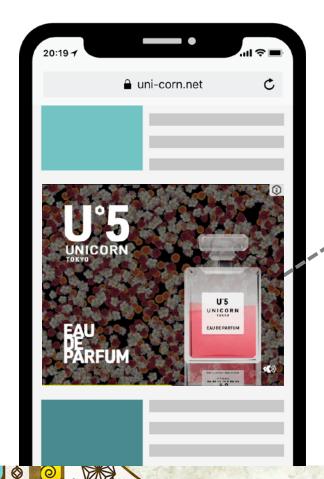








# UNICORN独自の配信技術により、従来静止画しか配信できなかったバナー枠へ動画広告の配信枠が可能に





600×500ピクセルのバナー枠に 動画の配信が可能





# 3Dモデルを使用したインタラクティブな体験型広告のクリエイティブの訴求が可能









#### **Topics**





#### 運用型広告事業における注力ポイント

#### 1. 運用支援システム

STROBE LIGHTS

#### 2. 独自価値



#### 3. 運用体制強化



広告運用の効率化及び 効果の最大化



クリエイティブチェックの 効率化



人員の確保及び 事業の効率化

#### 運用型広告事業のさらなる強化へ







#### STROBELIGHTS X(クロス)とは



#### <u>運用型広告総合支援システム</u>

# STROBELIGHTS >>>

グローバルメガプラットフォーム毎の 配信状況を一元管理できる総合ダッシュボード







#### STROBELIGHTSシリーズの新機能

# STROBELIGHTS 4G VIDEO ANALYZER

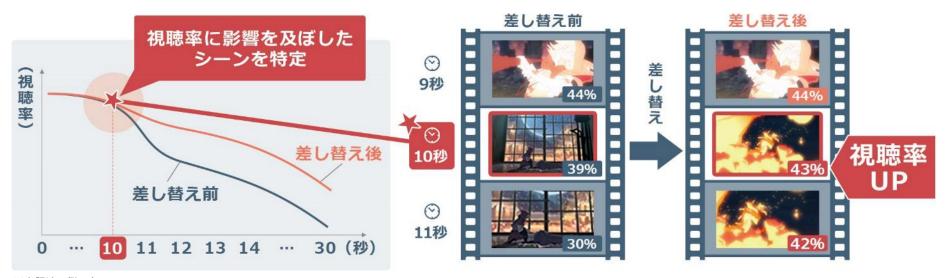
動画広告を、秒単位視聴率から 多角的に分析する独自システム







#### 視聴率に影響を及ぼしたシーンを特定し、 差し替える事によって、広告効果が向上



※上記は一例です。

秒単位での分析

視聴率が落ちた シーンを計測

差し替えて改善

広告効果向上







# 薬機法を遵守した適切な広告表現を提示するサービス「YACLE(ヤックル)」の提供を開始



ランディングページを**独自開発の解析ツールへ通すだけで、** リスクが高い箇所を指摘して更に適切な表現案までも提示<sub>※2</sub>

> ※1 上記は一例です。実際と異なる場合がございます。 ※2 本サービスによって提示される表現案について、合法性・適法性を保証するものではありません。







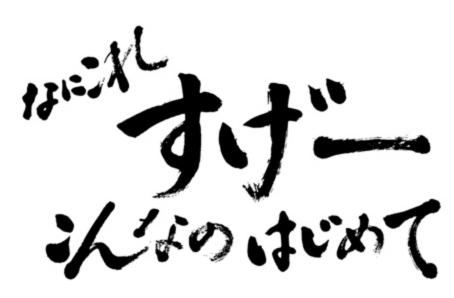




効率化及び運用体制の強化を図るべく札幌にBPO拠点を設置 1~2年以内に、現在の40名から100名に増員予定



# Beyond Everything Internet インターネットの全てを越えていく





# 本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2019年5月13日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。









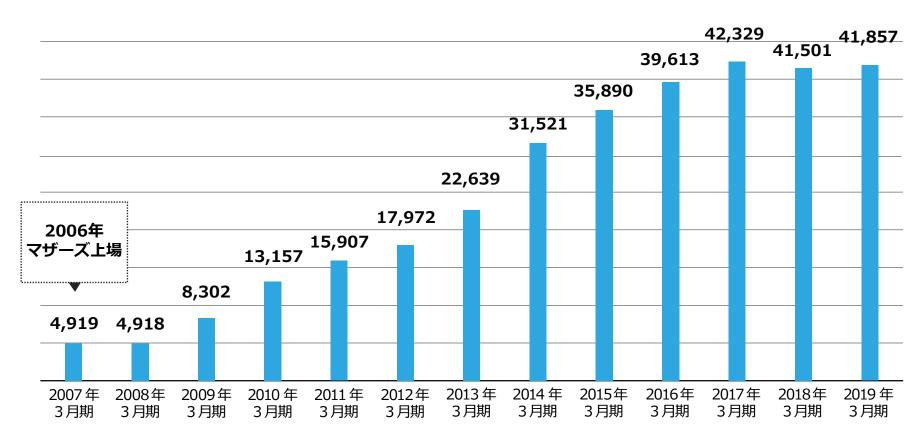


#### 連結売上高 年間業績推移

PC/フィーチャーフォン アフィリエイト事業に注力 スマートフォン広告事業 の開始と拡大

海外への注力

新規プロダクト への注力

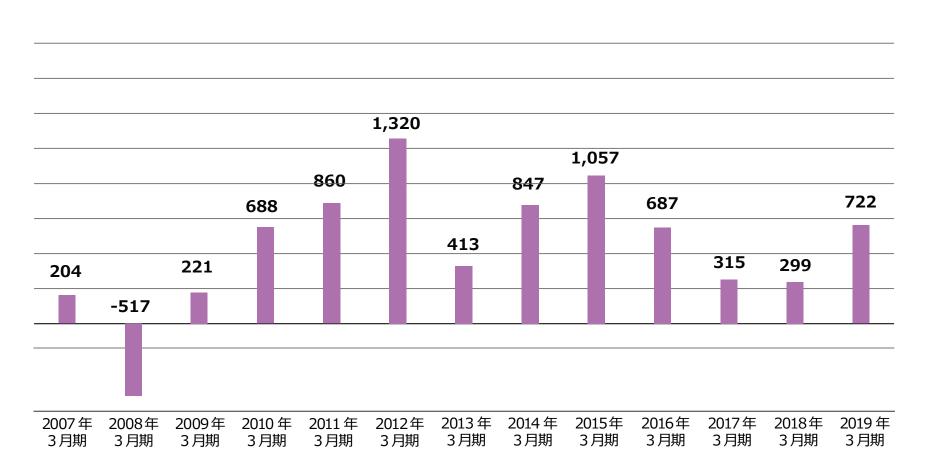




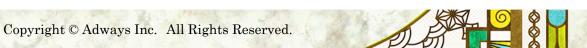




#### 連結営業利益 年間業績推移

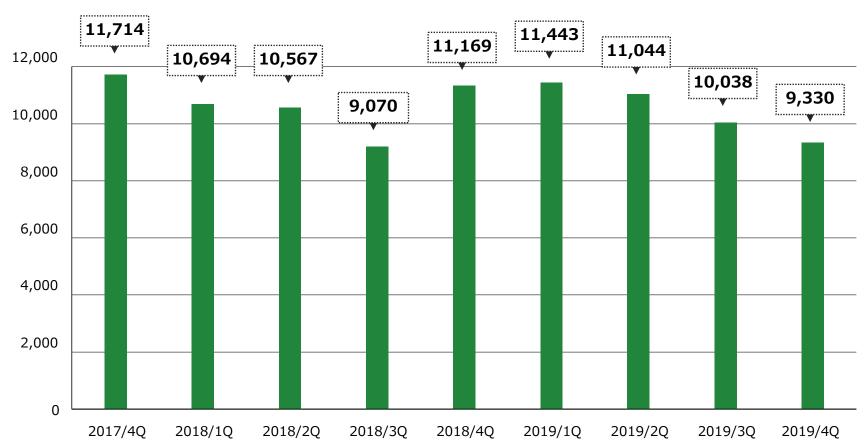


(単位:百万円)





#### 連結売上高 四半期推移

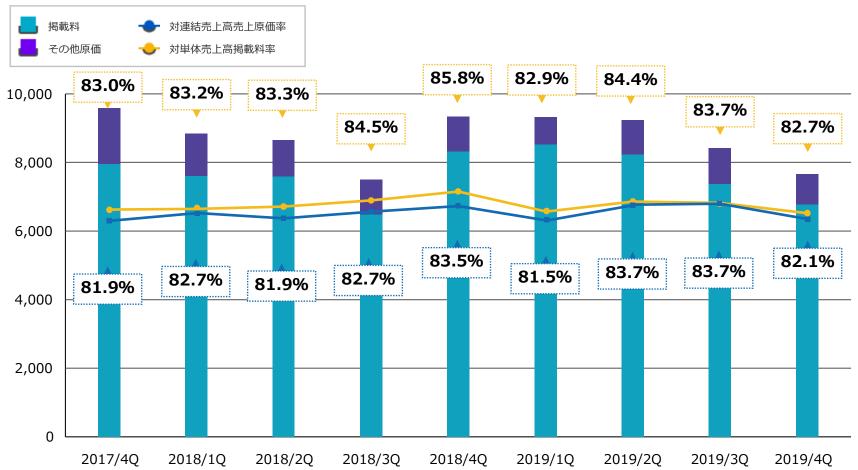








#### 連結売上原価 四半期推移

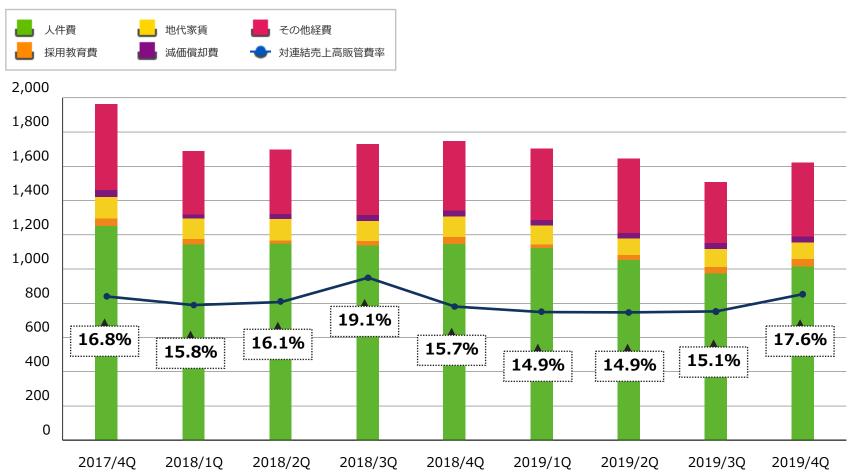








#### 連結販管費 四半期推移

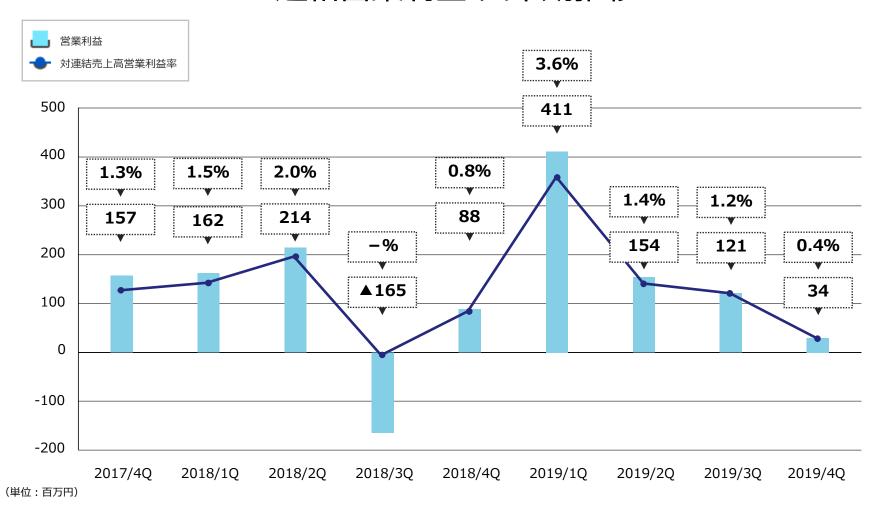








#### 連結営業利益 四半期推移







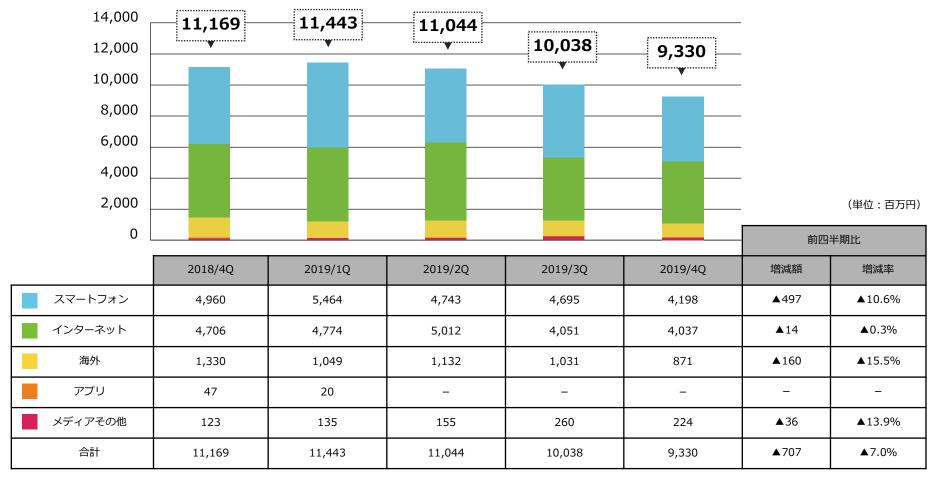
#### 連結貸借対照表 (前四半期比)

(単位:百万円)

	2019年3月期4Q	2019年3月期3Q	増減額	増減率
流動資産	15,108	15,341	▲233	▲1.5%
(現預金)	10,167	9,976	190	1.9%
固定資産	2,711	2,612	99	3.8%
総資産合計	17,820	17,953	▲133	▲0.7%
流動負債	6,162	6,674	<b>▲</b> 511	<b>▲</b> 7.7%
固定負債	134	118	15	13.1%
負債合計	6,297	6,793	<b>▲</b> 496	<b>▲</b> 7.3%
純資産合計	11,523	11,160	362	3.2%



#### セグメント内訳別連結売上高構成比 四半期推移



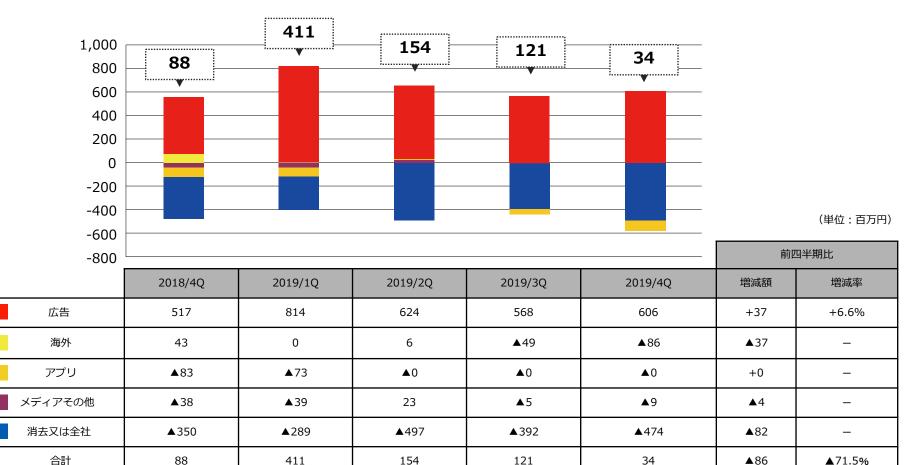
※2019/1Qのセグメント変更に伴い、遡及して変更後のセグメントに組替えて表示しております。







#### セグメント内訳別連結営業利益構成比 四半期推移



※2019/1Qのセグメント変更に伴い、遡及して変更後のセグメントに組替えて表示しております。





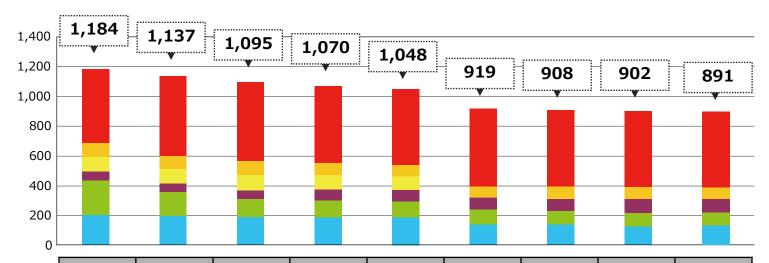
**▲**86

411

**▲**71.5%



#### 当社グループの従業員数 四半期推移



(単位:名)	2017/4Q	2018/1Q	2018/2Q	2018/3Q	2018/4Q	2019/1Q	2019/2Q	2019/3Q	2019/4Q
日本アドウェイズ	496	536	527	516	509	521	512	509	510
中国アドウェイズ	92	86	91	77	73	72	80	80	78
中国開発センター※	100	98	104	99	92	0	0	0	0
国内子会社	60	57	58	76	79	84	82	93	90
海外子会社(中国以外)	229	161	122	113	106	98	91	91	90
派遣/アルバイト等	207	199	193	189	189	144	143	129	123
合計	1,184	1,137	1,095	1,070	1,048	919	908	902	891

※2018年3月末にMBOが行われたことにより、中国開発センターの従業員数が「0」になっております。





# 会社概要



# 会社概要

会社名	株式会社アドウェイズ(英名	
設立年月日	2001年2月28日	
事業概要	インターネット関連事業	
代表者氏名	岡村 陽久	
資本金	1,605百万円	[2019年3月末日現在]
売上高	41,857百万円	[2019年3月期連結]
	891名(グループ全体)	[2019年3月末日現在]